

夢叶うまで挑戦

荒尾市立荒尾第三中学校便り
令和元年 9月20日(金)
第18号 文責：平木 元宏

「夢に向かって挑戦」ではなく「夢叶うまで挑戦」 ～中体連陸上競技大会を振り返って～

先週行われました「玉名荒尾中体連陸上競技大会」におきましては、35℃の猛暑の中、出場選手ならびに補助員や応援者を含めた103名の生徒が精一杯の頑張りを見せてくれました。結果は、総合3位(男子4位・女子2位)と、目標の総合優勝(男子3位・女子1位)まであと一步届きませんでしたが、一人一人が夢の実現に向けて必死に闘っている姿には感動をもらいました。(代表女子4×100mRは、実に40年ぶりの大会新記録を樹立してくれました)

学校目標である「夢叶うまで挑戦」には深い意味があります。「夢に向かって挑戦」する人はたくさんいます。しかし、夢は叶わないことの方が多いものです(夢や目標の設定状況にもよりますが)。数多くの失敗や挫折を経験しながらも決してあきらめないで夢が叶うまで挑戦し続けることこそに価値があるのかも知れません。右記の生徒が明日の県大会に出場します。新たな「夢叶うまで挑戦」を期待しています。

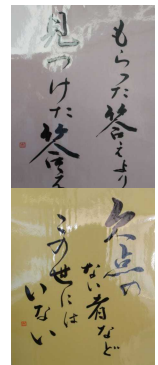
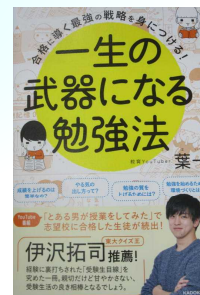
また、夢は変化していくものです。3年生は、次の夢に向かって挑戦していくはずです。常に何かの夢をもち、その夢の実現に向かって「夢叶うまで挑戦」し続ける人であってほしいと願っています。

＜県大会出場者＞

種 目	氏名(学年)
2年男子100m	上野 颯太(2)
2年男子1500m	西岳 政宗(2)
代表女子100m	古川 愛莉(3)
代表女子80mH	高本 優奈(2)
代表女子100mH	山下かなた(3)
代表女子走り幅跳び	吉川 凜(3)
代表女子 4×100mR	森田 妃南(3)
	山下かなた(3)
	高本 優奈(2)
	古川 愛莉(3)

期末テストは終わったあとが大事！

東大王で有名な伊沢拓司さんの著書『一生の武器になる勉強法』にこう書かれています。「ある研究者の実験によると、人間は記憶したものを20分後には約40%忘れ、1日経つと約70%忘れるというデータが発表されています。～中略～復習は誰にでもできるくらいシンプルで簡単、だから保護者も先生も復習をするように勧めるのです。」来週は、返ってきたテストを再度やり直しましょう。友だちや先生に尋ねてでも・・・。



～今週の言葉～

人間は9タイプ③

～達成者タイプの伸ばし方～

今回は、達成者タイプのお子様の伸ばし方について紹介します。

このタイプのお子様は、競争心が強く、上昇志向を強く持って、目標へ向かって頑張ることが得意です。このタイプは、典型的な「褒めて伸ばす」とうまくいきやすいタイプです。保護者から「うちの子はお調子者の目立ちたがり屋で・・・」と表現されることが多いのがこのタイプです。集団の中で自分への注目が集まりそうな行動はしますが、目立たないところでのコツコツとした地味な作業はやりたがりません。また、周りから低い評価を浴びるのを極端に嫌うため、「うまくいかなかった」「みんなの前で恥をかいた」となると極端に落ち込みます。

よって、保護者がお子様の虚栄心を満足させるような声かけをしつつも、ちゃんと実態が伴っているかチェックしていくとよいでしょう。何となく自信満々に見え、「この子に任せておけば大丈夫！」な雰囲気だけはかもしだしています。そして、負けん気も強く、最初の勢いがあるからこそ、お子様のそうした態度をそのままにしがちです。しかし、「できる体」を演じることが習慣化すると、あとで自分や周囲がたいへん困ったりすることになります。このタイプのお子様は、いかに自信満々に見えようとも、長期間にわたって目を離して「任せっ放し」にしてはいけません。

次回は「芸術家タイプ」の伸ばし方について紹介します。